

平成 27 年 11 月 28 日（土）ニューサンピア高崎にて第 6 回ポリナビワークショップ in 群馬を開催しました。今回「Change the common sense」（常識を覆す）というテーマでワークショップを行い、2025 年のケアモデルについて考えました。

病院完結型が常識となっている現在の医療から、地域で支える医療へ。2025 年問題は超少子高齢化、多死社会といった、今までの常識では考えられない事が起ころうとしています。その時私たちは 2025 年問題に対応していけるのか？看護師として医療、福祉、社会をどのように支え、自分自身も生き残っていけるのか？そういった視点でワークショップを開催しました。

6500 万年前、突然地球に隕石が衝突し、恐竜をはじめとするほとんどの生物が絶滅した。その中で生き残った生物は、強い者でもなく、知識がある者でもなく、適応力のある者でした。変化ある自然環境に適応し、いくつもの試練を乗り越えた生物が人類へと進化してきた。これから起ころうとしている社会の変化に適応していくために、まずは考えようというオープニングムービーでワークショップの幕が開けます。

「看護連盟」「ポリナビ」と聞いたほとんどの人は、政治と看護の関連、難しく堅い研修を想像していたかもしれません。実際とても難しいテーマでしたが、青年部メンバーでアイデアを出し合い、ニュース生中継風にアレンジをしたり、笑いも取り入れ、和やかな雰囲気イベントが進みました。富岡製糸場の歴史、産業革命明治初期の外国との貿易など、その時代の変化に対応し、現在の日本を築いてきた初代群馬県知事楢取素彦、吉田松陰らの功績や、10 年後の病棟をリアルに表現した映像を作成。また看護協会が発表した「2025 年に向けた看護の挑戦、看護の将来ビジョン」をテーマにプレゼンテーションを行い、2025 年問題を伝えました。

そして個人ワーク、グループワークを行い、最終的には提言書という形で解決策を考えてもらい参加者それぞれが 2025 年問題に直面してもらえたかと思います。さらにはここでサプライズ。実はワークショップスタートより木村やよい衆議院議員が一般参加者同様に紛れ、個人ワーク、グループワークにも参加してもらいました。この企画を提案した際、快諾してくださったうえに、木村議員には軽い変装までして頂きました。現職の国会議員にこんなことまでさせてしまい連盟役員一同恐縮、感謝しております。同じグループとなった参加者の方々はまたとない経験になったのではないのでしょうか。

最後には各グループの代表が作成した提言書を直接木村議員に手渡しできたことで国会議員をより身近に感じる事ができたのではないかと思います。ポリナビワークショップ、今回で 6 回の開催となりました。これからも参加して頂く方々には楽しい時間であるよう作っていきたいと思っております。